

肥料価格と原料情勢について

組合員・利用者の皆様へ

平素より、JA事業にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

肥料については、昨年度より、世界的な穀物需要の拡大による原料価格の上昇や、原油価格、海上運賃の上昇、円安の拡大等により価格の上昇が続いています。

そのような中、肥料をめぐる世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻を契機に国際商品市況は一段と上昇し、更なる円安などで、肥料の製造コストは大幅に上昇しています。

JA山口県としては、肥料メーカー・全農等との価格交渉はもとより、早期引き取りをはじめ、値上がり幅の抑制に取り組んでいますが、情勢の激変に伴い6月以降において供給価格を大幅に値上げすることになります。

また、国際情勢に伴い使用原料の変更や、当用購入については一部で在庫への影響も想定されますが、予約注文への結集を基に、引き続き安定供給に努めてまいります。

皆様には、大変ご迷惑をおかけすることになりますが、諸般の事情をご賢察いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

《肥料の原料情勢》

- (1) 肥料原料は、穀物需要の拡大に伴う価格上昇が続く中、中国の輸出制限、ロシア・ウクライナ情勢等により、肥料原料のチツソ、リン酸、カリの国際市況は全てが上昇し、高い水準で推移しています。
- (2) 原油市況および海上運賃は、前年同期に比べ更に高い水準で推移しています。
- (3) 外国為替相場は、日米金融政策の相違を反映した金利差の拡大などを背景として、急激に円安が進行し、肥料原料の輸入価格に大きな影響を与えています。

日本における肥料原料の輸入先割合

